

# 赤潮情報（2）

令和4年7月8日

各漁業協同組合長 殿

福岡県水産海洋技術センター  
豊前海研究所長

7月7日に調査を行った結果、有害プランクトンのシャットネラ属（*Chattonella* spp.）がほぼ消滅したことを確認しました。

一方、別の有害プランクトンであるカレニアミキモトイ（*Karenia mikimotoi*）が、一部調査点の底層で低密度ながら確認されました。

## < 有害プランクトンの状況 >

- 今回の調査で確認されたカレニアミキモトイは、海水1ccあたり数千細胞で魚介類に被害を及ぼします。現時点では被害を及ぼす密度ではないと考えられます。
- なお、増殖初期は中層で増殖する性質を持っているので、海面からの観察では着色が判別しにくい種類です。表層で変色がない場合でも増殖が進んでいる場合があります。

## < 今後の状況 >

- 今後の天候次第では本種が増殖する可能性がありますので、研究所では引き続き調査を行います。増殖を確認した場合は随時情報提供を行います。

漁業被害、海水の変色などがみられましたら、豊前海研究所（0979-82-2151、担当：後川、恵崎）までご連絡下さい。

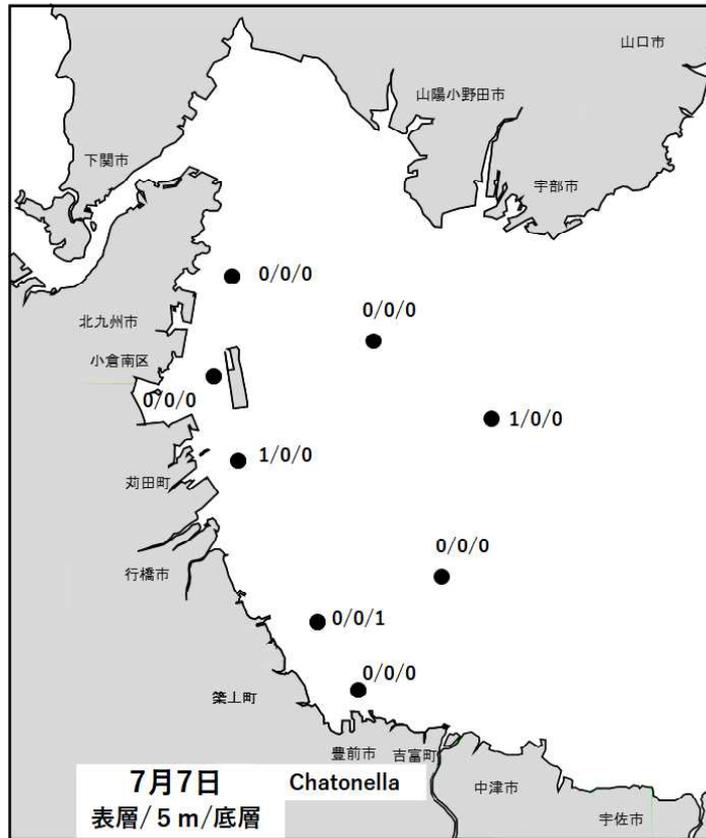


図 シャットネラ属細胞数（海水 1 ccあたり）

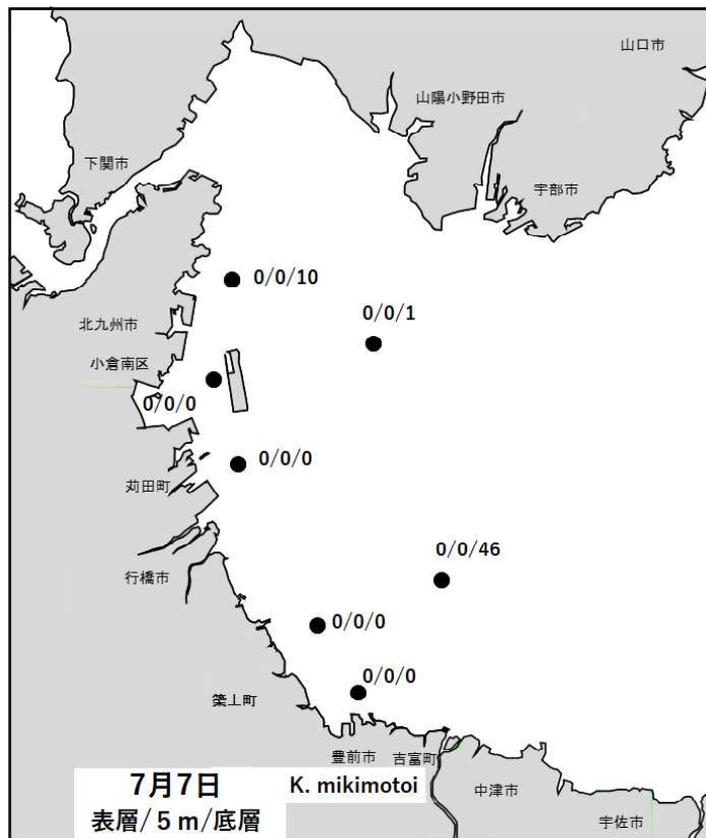


図 カレニアミキモトイ細胞数（海水 1 ccあたり）

※ 数字は0m層 / 5m層 / B-1m 層の細胞数を示しています